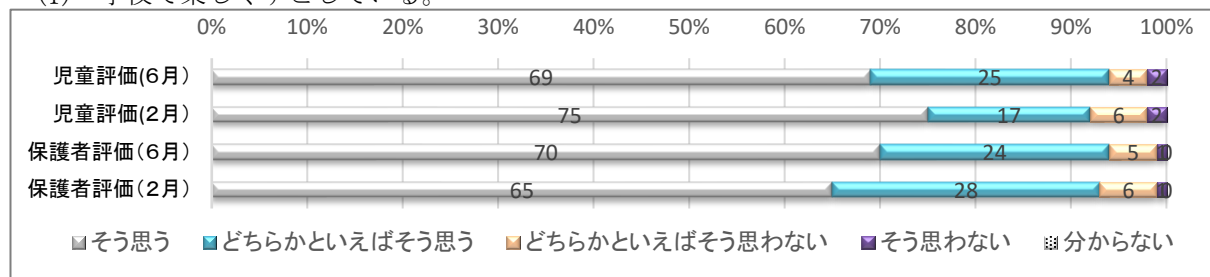


学校評価の結果をお知らせします

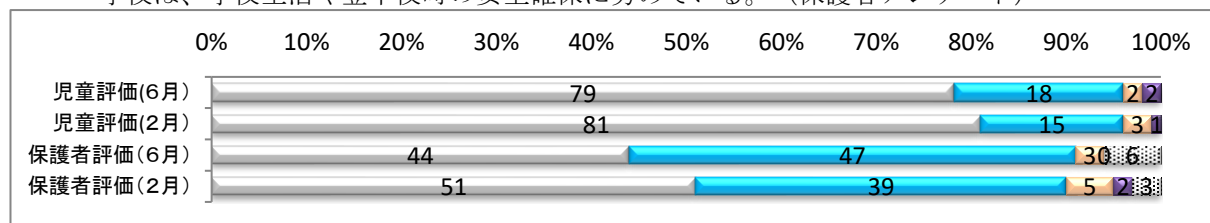
保護者の皆様には、2回目の学校評価にご協力いただきありがとうございました。子供たちの自己評価、保護者の皆様による評価、学校評議員の方々からの意見等から今年度の学校運営の成果と課題について考察しました。評価の結果と皆様からのご意見を真摯に受け止め、教職員全体で話し合い、次年度に向けてよりよい学校を目指して改善に努めていきます。

1 学校生活振り返りアンケートの結果（児童・保護者）

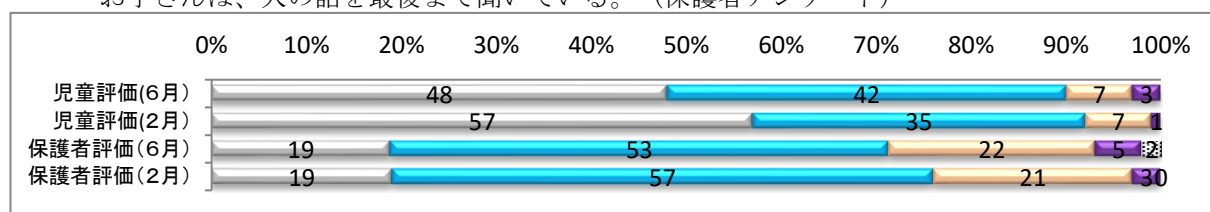
(1) 学校で楽しくすごしている。



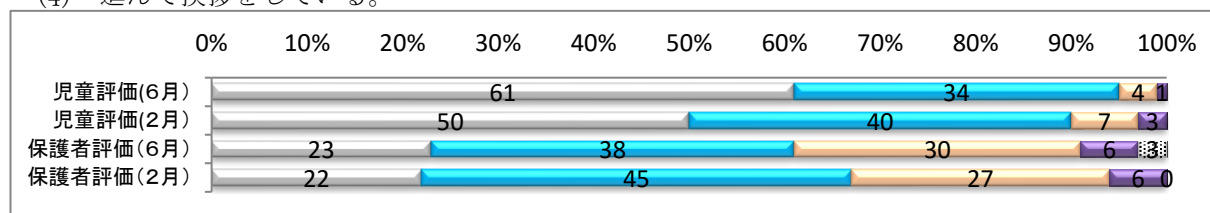
(2) 事故にあわないように、交通ルールを守ったり、まわりの安全に気を付けたりしている。（児童アンケート）
学校は、学校生活や登下校時の安全確保に努めている。（保護者アンケート）



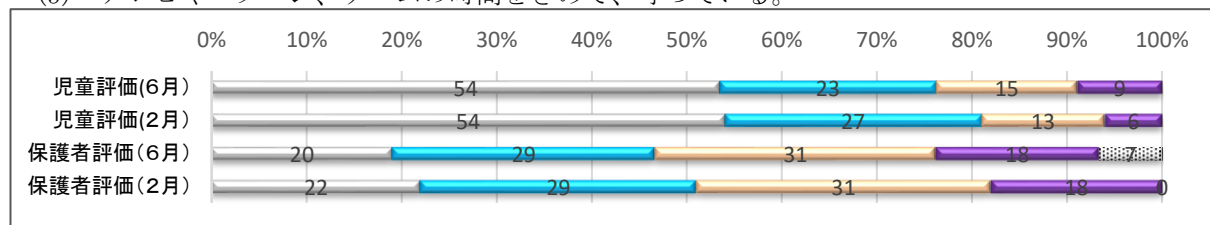
(3) 授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いて、考えている。（児童アンケート）
お子さんは、人の話を最後まで聞いている。（保護者アンケート）



(4) 進んで挨拶をしている。

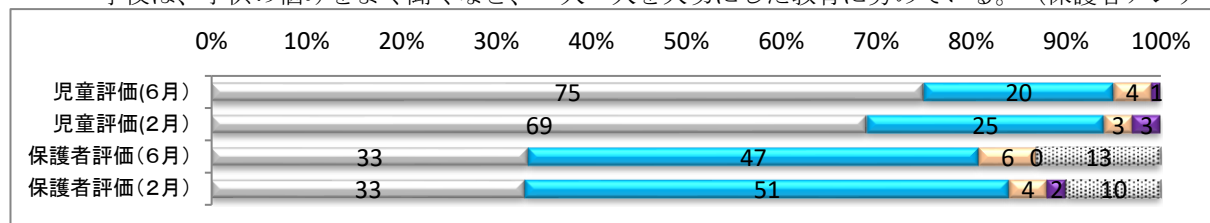


(5) テレビやパソコン、ゲームの時間をきめて、守っている。



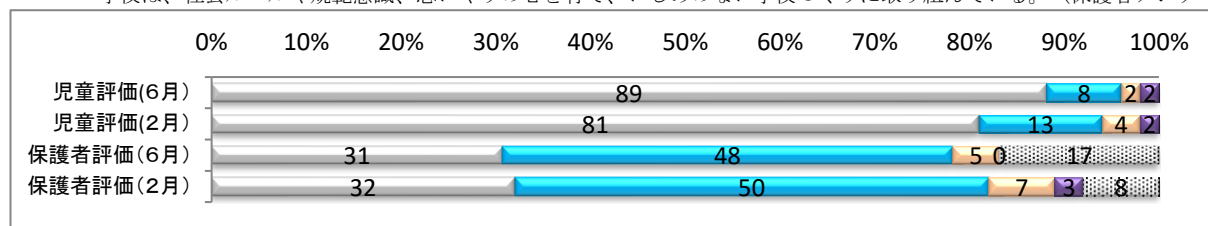
(6) 先生方は、わたしたちの話をよく聞いてくれる。（児童アンケート）

学校は、子供の悩みをよく聞くなど、一人一人を大切にされた教育に努めている。（保護者アンケート）



(7) 先生方は、悪いことをしたときには、きちんと注意してくれる。(児童アンケート)

学校は、社会ルールや規範意識、思いやりの心を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。(保護者アンケート)



【学校で楽しく過ごしている】

児童・保護者ともに、6月・2月のA・B評価が90%を超えています。一方、学校を楽しくないと感じている児童がわずかではありますが6月より増えています。これらの児童が少しでも学校が楽しいと感じられるように、「分かる、できる」を実感できる学習指導、安心、安全な学校生活のための環境づくりに努力していきたいと考えます。

【話を聞く】

話を聞くことについては、児童、保護者の評価に大きな変化はなく、わずかではありますがどちらもA・B評価が増えています。相手の話を「口を閉じて聞く」「手を止めて、顔を見て聞く」「自分の考えと比べながら聞く」ということを意識しているためと考えます。今後も粘り強く継続して指導し、「聴く力」の向上に努めていきます。

【進んで挨拶をしている】

挨拶については、6月・2月ともに児童と保護者にはずれがあります。今年度はコロナ対策として、大きな声での挨拶は控えていましたが、大きな声を出さなくても相手に伝わる挨拶はあります。どのような挨拶が自分も相手も気持ちのよいものなのかを具体的に示しながら、あいさつ運動等の方策を考えていきます。

【テレビやパソコン、ゲームの時間】

「テレビやパソコン、ゲームの時間を決めて守っている」では、2月の児童のA・B評価が80%を超えました。保護者の評価とはずれがあります。このことについては、基本的な生活習慣の形成、ネットの利用の仕方とともに大きな課題であると考えます。今後一層、家庭との連携を図りながら考えていきたい課題です。

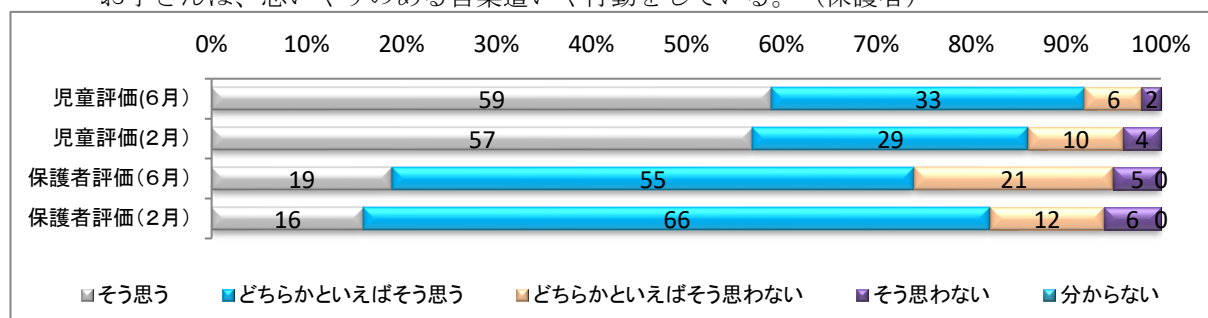
【教育相談体制・いじめのない学校づくり】

どちらも児童・保護者ともに高い評価でした。「分からない」と回答した保護者は、6月より減っています。今後も学校での取組を保護者に伝える情報発信に努めたいと思います。しかし、学校全体で安心・安全な学校生活を送ることができる体制を整えてほしいという意見があり、今後も一人一人の子供たちのよりよい成長を願って、学校全体での協働して粘り強く取り組んでいきます。

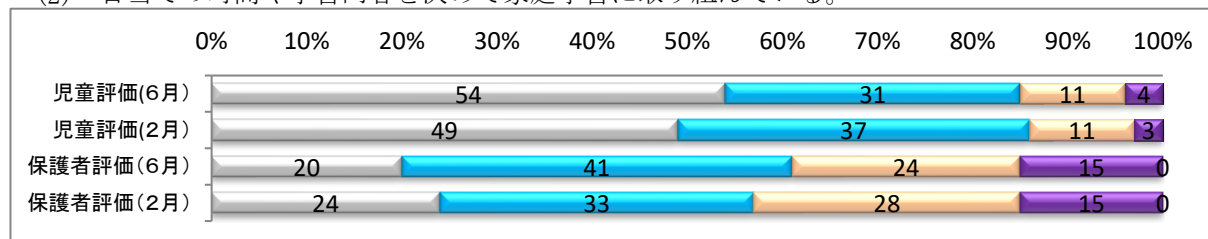
2 アクション・プランの結果（児童・保護者）

(1) 「ありがとう」など相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動をしている。(児童)

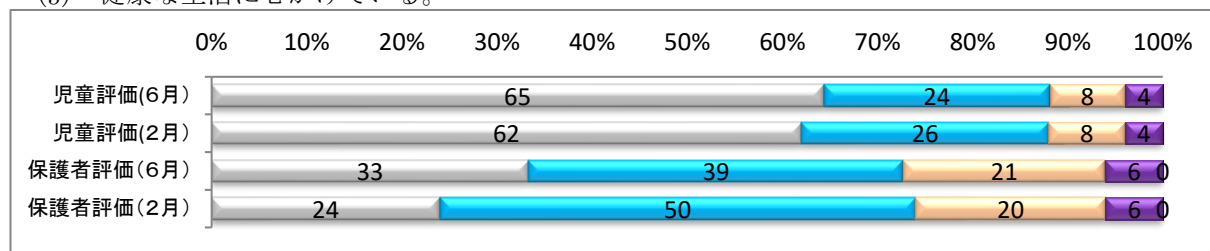
おさんは、思いやりのある言葉遣いや行動をしている。(保護者)



(2) 目当ての時間や学習内容を決めて家庭学習に取り組んでいる。



(3) 健康な生活に心がけている。



【相手も自分も大切にする言葉や行動】

「思いやりのある言葉遣いや行動をしている」では、2月の児童のA・B評価は86%と6月を下回りました。しかし、2月の保護者のA・B評価は82%と、6月を上回り、児童と保護者のずれが小さくなりました。運営委員会による人権集会や「きらきらの木」の取組等により、児童の思いやりのある言葉や行動に関する意識が高まってきていると考えます。今後も学校の教育活動全体において相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができるように、心を耕し、思いやりの心を大切に育んでいきたいと考えます。

【家庭学習の習慣化】

保護者のA・B評価は、57%となり、6月をさらに下回る結果となりました。「自主学習ノート展」等を行い、自主学習の取り組みを紹介したり、賞賛と励ましの声かけをしたりして、学習意欲を高めるとともに、家庭学習課題の内容を工夫し、一定時間集中して取り組むことができるよう、家庭と連携して取り組んでいきたいと考えます。

【健康な生活】

児童・保護者ともに6月と比較して大きな変化は見られない。マスクの着用、手洗いはよくできています。早寝、早起き、朝ご飯を食べるということ、毎日運動するというについては課題が残ります。様々な運動機会の提供や食育、「テレビやパソコン、ゲームの時間を決めて、守る」等に関連させながら、基本的な生活習慣の形成を目指した取組をする必要があると考えます。

保護者の皆様からいただいた意見と回答をお知らせします。

意 見	意見についての回答
悪天候での臨時休校になる場合の判断が遅いと思いました。大雪の時に歩道が除雪されていない状態で子供を登校させるのは、いかがなものでしょうか。町への早急な除雪対応を依頼するとともに、バスでの送迎等臨機応変な対応をお願いしたいです。	3学期初めの大雪への対応については、大いに反省しています。町の校長会においても今回の対応については検証を行いました。今回の反省を基に、今後は以下のように対応したいと考えています。 1 警報が発表されている、もしくは発表される可能性が高く子供たちの登下校に支障をきたす可能性がある場合は、前日中に何らかの対応を取りお知らせする。※判断が難しい場合は、当日朝に取る可能性がある措置をお知らせする。 2 今回のように道路の除雪状況を把握しづらい場合は、総務委員等のPTA役員から各地区の情報を得る体制をあらかじめ整えておく。 通学路の除雪を優先的に行うことについては、これまでも要望してきていますが、今回のことを踏まえ、さらにお願ひしていきます。
コロナ禍の中、体調不良の日は念のため学校を休ませています。せっかく一人一台のタブレットが準備されたのですから、そんなときにこそリモート授業を行ってほしいです。	リモート授業については、残念ながら準備が整っていない状況です。3学期からは、子供たちはもちろん教師もタブレットに早く慣れるよう、朝から下校まで、タブレットを各自の机の中に入れ、必要な時にはすぐに使えるようにしています。早くご期待に応えられるよう準備を進めていきます。
今年は、学級懇談会がなかったので、他のお子さんの家庭での様子、悩みなどを聞く機会がなかなかなく、残念でした。普段あまり関わりのない方とコミュニケーションをとるためのよい方法があればありがたいです。	学級懇談会を始めとしたPTA活動が思うように行えなかった今年度は、その重要性を再確認することができました。新年度は、感染予防策をしっかりとったうえで、学級懇談会等を行う予定です。
雨、雪の日も暴風雪の日も、毎日玄関前で子供たちを受け入れてくださっている校長先生はじめ先生方に感謝します。安心して通わせることができます。ありがとうございます。	登校時の子供たちの様子からは、その日の体や心の状態をうかがい知ることができます。さらに、朝一番に元気な挨拶を交わすことで、学校生活のよいスタートがきれいと信じています。
いつもありがとうございます。三位一体(子ども、先生、保護者)で、明るく楽しい学校になるといいと思っています。我が子を筆頭に全体的に挨拶が苦手なように見受けられるので、あいさつ運動にもう少し力を入れてもらえるとありがたいです。	今年度は、感染予防の観点から大きな声での挨拶を控えさせてきました。会釈での挨拶などについても指導してきましたが、挨拶に関する指導は徹底できなかったように思います。挨拶はコミュニケーションの基本だと考えます。今後は、学校と家庭に加え、地域の方々にもさらにご協力をいただきながら、あいさつ運動を進めていきたいと考えています。